

## **(新カリ) 文学部 2010年度以降入学**

### **マンチェスター中期協定留学参加者への対応について**

#### **1. 前期（春期）にマンチェスター大学に留学する場合**

- ① 履修登録できる科目は、後期開講科目と卒業論文のみとなります。
- ② 単位認定できる科目は、別表のとおりです。

#### **(4年次前期での留学)**

##### **ア 英米文学科・国際文化学科・現代社会学科**

「演習Ⅲ」の留学による単位認定、留学終了後の後期における「演習Ⅳ」の履修および「卒業論文」の提出が可能です。このため、卒業要件を満たせば、留学した年度に卒業することができます。

##### **イ 日本文学科**

留学終了後の後期に、「日本文学演習Ⅳ」または「日本語学演習Ⅳ」のいずれかを集中して2科目履修することで、そのうち1科目を「日本文学演習Ⅲ」または「日本語学演習Ⅲ」に読み替えて、「日本文学演習Ⅲ」と「日本文学演習Ⅳ」、または「日本語学演習Ⅲ」と「日本語学演習Ⅳ」という2科目の単位を修得することが可能です。また、留学終了後の後期における「卒業論文」の提出が可能です。このため、留学前の既修得単位と、留学により認定された単位および後期開講科目のうち修得した単位（「日本文学演習Ⅲ」または「日本語学演習Ⅲ」を含む）とを合わせて、卒業要件を満たすのであれば、留学した年度に卒業することができます。

#### **(3年次前期での留学)**

##### **ア 英米文学科・国際文化学科・現代社会学科**

留学前の既修得単位、留学により認定された単位（「演習Ⅰ」を含む）、および後期開講科目のうち修得した単位（「演習Ⅱ」を含む）とを合わせて進級要件を満たすのであれば、4年次に進級することが可能です。

##### **イ 日本文学科**

留学終了後の後期に、「日本文学演習Ⅱ」または「日本語学演習Ⅱ」のいずれかを集中して2科目履修することで、そのうち1科目を「日本文学演習Ⅰ」または「日本語学演習Ⅰ」に読み替えて、「日本文学演習Ⅰ」と「日本文学演習Ⅱ」、または「日本語学演習Ⅰ」と「日本語学演習Ⅱ」という2科目の単位を修得することが可能です。このため、留学前の既修得単位と、留学により認定された単位および後期開講科目のうち修得した単位（「日本文学演習Ⅰ」または「日本語学演習Ⅰ」を含む）とを合わせて、進級要件を満たすのであれば、4年次に進級することができます。

### **( 2年次前期での留学)**

全学科について、留学前の既修得単位、留学により認定された単位および後期開講科目のうち、修得した単位とを合わせて、進級要件を満たすのであれば、3年次に進級することができます。

なお、留学により単位認定が可能な科目には限りがあります。そのため、進級要件を満たすかどうかを、慎重に検討することが必要です。また4年間で順調に卒業するためには、3年次以降に多くの科目を履修し、単位を修得する必要があります。留学後の3年次において、履修希望科目に時間割上の重複がおこることもあるため、必ずしも思いどおりの履修登録ができない場合も考えられます。

## **2. 後期(秋期)にマンチェスター大学に留学する場合**

- ① 履修登録できる科目は、前期開講科目のみとなります。
- ② 単位認定できる科目は、別表のとおりです。

### **( 4年次後期での留学)**

全学科について、留学によって「卒業論文」が単位認定されないため、留学した年度においては卒業ができません。なお、次年度については、卒業論文の提出にかかわる手続き等が変更になる可能性がありますし、授業料などの減免、9月卒業などの可能性もあるので、指導教授と個別に十分な相談をしてください。

#### **ア 英米文学科**

「演習Ⅳ」の留学による単位認定を認めません。

#### **イ 国際文化学科・現代社会学科**

「演習Ⅳ」の留学による単位認定が可能です。

#### **イ 日本文学科**

留学前の前期に、「日本文学演習Ⅲ」または「日本語学演習Ⅲ」のいずれかを集中して2科目履修することで、そのうち1科目を「日本文学演習Ⅳ」または「日本語学演習Ⅳ」に読み替えて、「日本文学演習Ⅲ」と「日本文学演習Ⅳ」、または「日本語学演習Ⅲ」と「日本語学演習Ⅳ」という2科目の単位を修得することが可能です。あるいは、留学後の次年度前期に、「日本文学演習Ⅲ」または「日本語学演習Ⅲ」を履修して、それを「日本文学演習Ⅳ」または「日本語学演習Ⅳ」に読み替えることも可能です。

### **( 3年次後期での留学)**

#### **ア 英米文学科・国際文化学科・現代社会学科**

留学前の既修得単位(「演習Ⅰ」を含む)と、留学により認定された単位(「演習Ⅱ」を含む)とを合わせて、進級要件を満たすのであれば、帰国後4年次に進級することが可能です。

## イ 日本文学科

留学前の前期に、「日本文学演習Ⅰ」または「日本語学演習Ⅰ」のいずれかを集中して2科目履修することで、そのうち1科目を「日本文学演習Ⅱ」または「日本語学演習Ⅱ」に読み替えて、「日本文学演習Ⅰ」と「日本文学演習Ⅱ」、または「日本語学演習Ⅰ」と「日本語学演習Ⅱ」を修得することが可能です。このため、留学前の既修得単位（「日本文学演習Ⅱ」または「日本語学演習Ⅱ」を含む）と、留学により認定された単位とを合わせて、進級要件を満たすのであれば、帰国後4年次に進級することができます。

### （2年次後期での留学）

全学科について、留学前の既修得単位、留学により認定された単位とを合わせて進級要件を満たすのであれば、帰国後3年次に進級することができます。

なお、留学により単位認定が可能な科目には限りがあります。そのため、進級要件を満たすかどうかを、慎重に検討することが必要です。また4年間で順調に卒業するためには、3年次以降に多くの科目を履修し、単位を修得する必要があります。留学後の3年次において、履修希望科目に時間割上の重複がおこることもあるため、必ずしも思いどおりの履修登録ができない場合も考えられますので注意してください。

以上